



このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

*****☆目次☆*****

- 【1】『巻頭言』 為末大氏のクラブに寄せる期待
- 【2】『指定クラブ訪問記』 興本倶楽部（東京都足立区）
- 【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント(その1)』クラブの会則
- 【4】『世界のスポーツ&クラブライフ』 ドイツ編
- 【5】『きてみて！クラブハウス』 くちくまのクラブ「SEACA」（和歌山県）

【1】『巻頭言』 為末大氏のクラブに寄せる期待



■シンポジウム「地域が舞台！スポーツクラブが社会を変える」が過日行われました。パネリストの1人、為末大氏は陸上のトップアスリートとして国民的有名人です。
ヘルシンキ世界選手権の400mハードルでは、悪天候の中、様々なプレッシャーを越えて見事に銅メダルを獲得しました。
明け方、テレビをみながら一緒に涙した方も多いでしょう。

■為末氏は、クラブのイメージを次のように語っています。
「みんなが集まって何かをする場が地域のスポーツクラブだと思います。私には姉がいるのですが、子育ては大変です。“公園デビュー”を地域スポーツクラブでできるといい。親がスポーツをしている時、子供のめんどうをみってくれる。みんなが集まる場所だとそれができます」

■トップアスリートの立場からクラブへの期待を次のように述べています。
「トップ選手が必要とする環境は、『時間』『(落ち着いて練習に)集中できる環境』『情報』の3つです。三角形の頂点がトップ、底辺がスポーツを楽しむ層だとすると、日本では真ん中の層が抜けている。トップをめざしながら今の生活をするという層が海外はすごく厚く台形のような形になってい

スポーツライフを楽しむことがまず大切です。生涯にわたってスポーツとの関わりを持つためには、小さな時の「スポーツとの出会い」が重要なことは言うまでもありません。そのような関わり方を仲間とともに模索し実践していくのが地域のスポーツクラブです。

(佐藤由夫 日本自由時間スポーツ研究所 所長)



▼文章全文と写真はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=24>

【5】『きてみて！クラブハウス』くちくまのクラブ「SEACA」（和歌山県）



■クラブハウスを「交流の場」として考えれば、学校や会社帰りに気軽に立ち寄れる便利な場所にあってもいいと思いませんか？

「くちくまのクラブ『SEACA（シーカ）』のクラブハウスは、なんと無人駅の駅舎内にあります。JRの朝来（あっそ）という駅です。和歌山駅から新宮駅までつなぐ紀勢本線（通称；きのくに線）の中ほどにあります。



▼文章全文と写真はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=25>

次号は12月20日（火）発行予定です（主な内容紹介）

『巻頭言』 著名人からの応援メッセージ

『クラブ東西南北』 既存の総合型地域スポーツクラブの紹介

『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント(その2)』 事故とクラブの責任

『世界のスポーツ&クラブライフ』

『きてみて！クラブハウス』



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) 2005 Japan Sports Association. All rights reserved